

令和3年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和 年 月 日

国際交流推進センター長 殿

下記のとおり報告します。

1. 国際研究集会名	国際セミナー: 歴史的都市空間と都市の生活の質		
2. 事業責任者 (申請者)	三島伸雄	3. 所属・職名	理工学部・教授
4. 開催期間	令和 3年 9月 6日 ~ 令和 3年 9月 17日		
5. 参加者数 ※参加者名簿(様式任意)を添付	参加者数 <u>36</u> 名 うち、外国人数 <u>14</u> 名、学生数 <u>29</u> 名(修士課程以上 8名)		
6. 支援金額	金額 <u>200,000</u> 円		
7. 招待講師	所属 <u>ウィーン工科大学 JASEC(日本オーストリア交流センター)</u> 職名 <u>講師・博士</u> 氏名 <u>Barbara Rief-Vernay</u> 所属 <u>ウィーン工科大学 建築プランニング学部</u> 職名 <u>講師・博士</u> 氏名 <u>Dr. Meinhard Breiling</u> 所属 <u>ウィーン工科大学・JASEC(タリン工科大学)</u> 職名 <u>講師(研究教授・博士)</u> 氏名 <u>Fabian Dembski</u> 所属 <u>ウィーン工科大学 JASEC</u> 職名 <u>上級研究員・博士</u> 氏名 <u>Iris Mach</u> 所属 <u>ウィーン工科大学 JASEC</u> 職名 <u>シニア講師・工学修士</u> 氏名 <u>Thomas Rief</u>		
8. 謝金支出額	金額 <u>200,000</u> 円		
9. 国際研究集会の内容	<p>令和3年9月6日(月)~17日(金)に、ウィーン工科大学 JASEC(日本オーストリア科学交流センター)と佐賀大学建築環境デザインコース(三島伸雄教授)の主催で、建築都市デザインのオンライン国際セミナー「Preserved historic urban spaces and quality of life in the city」を実施した。お茶の水大学(教員1名・学生6名)、芝浦工業大学(学生6名)、九州大学(学生1名)・佐賀大学(教員1名、学生10名)・ウィーン工科大学(教員5名、学生6名)の総勢36名が参加し、歴史的環境や自然環境の保全に関する講演、学生チームによる調査・計画提案があった。</p> <p>講師による講演では、ウィーンと日本の歴史的環境の保存の比較、ウィーンでの自然保護と公園、タウンスケープデザインの手法、日本における伝統的建造物群保存地区の近年の活用と課題などがオーストリアと日本の研究者から紹介され、参加者との議論が行われた。また、学生等は、これらの講演を受けて、都市のグリーンアクセスの提案、皇室公園の活用提案、タウンスケープの新たな価値の比較、日本の駅周辺整備の課題、離島集落の歴史的環境活用に向けた提案、を2週間かけて作成し、発表した。</p>		

10. 特記すべき成果・波及効果

これまでにはなかったオンラインによる国際交流の実施であったが、参加者は時差を飛び越えて議論し、これからの建築・アーバンデザインについての知見を得ることができた。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。

